

2021(令和3)年度 部局マニフェスト

～私たちの組織使命と目標～

部局名	青山支所
役職	支所長
氏名	稲森 真一
2021(令和3)年度の抱負	地域と行政を結ぶ新時代の拠点をつくります



業績目標の達成状況 5. 先進的な取り組みを行い、成果があった 4. 達成水準を上回る成果があった 3. 業績目標を達成した 2. 取り組んだが、業績目標を達成しなかった 1. 業績目標に取り組まなかった

組織使命	組織使命達成に向けての目標	目標の達成水準	目標を達成するための手段
◎部局目標1 伊賀市公共施設最適化計画に基づき、公共施設等マネジメントを推進します。	青山複合施設の建設	<現在の状態> 施設建設工事が始まっている。 ↓ <達成目標> 施設建設工事が完了し、引越し作業等を終えて、施設の利用開始に向けた準備が整う。 ※目標が達成した状態 2022(令和4)年4月、青山複合施設の利用が開始されている。	毎週の定例打合せ会議で工事の進捗状況を把握し、それぞれの時期に合わせて取り組むべき業務を遅れることなく実施する。
◎部局目標2 住民自治協議会等と連携し、みんなが互いに支え合いながら暮らすことのできる「地域共生社会」を推進します。	市民や地域の生活課題の解決に向けた情報共有と連携強化	<現在の状態> 青山住民自治協会長連絡会の主な役割が行政情報伝達となっている。 ↓ <達成目標> 各地域が抱える生活課題が会長連絡会で積極的に提起され、その解決に向けた話し合いが行われる。 ※目標が達成した状態 生活課題の解決に向けた地域の取り組みの様子や成果が報告される。	提起された生活課題を管内地域と行政で共有し、その解決に向けた話し合いを続けていく。支所の窓口や電話で受ける相談事を理解・把握し、支所で完結できない事象については、専門分野の担当につなぐ。
◎部局目標3 自主防災組織の組織強化を図り、地域の防災力を高め、災害などの危機に強い地域を目指します。	一時避難所における避難所運営マニュアルの策定	<現在の状態> マニュアル自体が無い区、またマニュアルはあるが新しい生活様式対応に更新されていない地区がある。 ↓ <達成目標> 各地域の状況に応じた一時避難所運営マニュアルが全地区で作成されている。 ※目標が達成した状態 各地区に避難所運営マニュアルがあり、区役員等に周知されている。	地区市民センター長会議を中心に、一時避難所運営マニュアルの基本版を作成する。各地区が基本版の内容を確認し、それぞれの実情に応じた修正版としてマニュアルを完成させる。

達成状況(自己評価)	理由
3	2022(令和4)年3月22日に青山複合施設が開庁し、支所や図書室、地区市民センター等を多くの方が利用されている。
3	2自治協が指定管理者制度を導入し、3自治協が地域応援補助金を活用する等、各地域における生活課題の改善や解決に向けた話し合いが毎月行われている。共通する課題の解決に向けては、管内全自治協が連携して取り組むことで合意された。
2	一時避難所運営マニュアルの基本版を作成して配布し、それを各自治会が一時避難所の実情に応じて活用できるよう修正し、支所と共有している。現在、一部の自治会との共有ができていない。